

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス		開講キャンパス	開設学科		管理栄養学科					
科目名称		臨床栄養学Ⅲ					授業形態		講義				
科目コード		303500	単位数		2単位	配当学年		3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名		竹元 明子										ICT活 用	
授業概要		臨床施設における栄養管理の専門職として、疾患毎の病態と傷病者に対応した栄養ケア・マネジメントを理解し、臨床に関わる適切な栄養管理についての知識を深める講座。 臨床栄養学Ⅱに引き続き、各論としての疾病概要、最新の診断基準に基づいた病態毎の栄養管理に関する知識を学ぶ。											
関連する科目		履修前：臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・からだと疾病Ⅰ・Ⅱ・基礎栄養学・食品衛生学・等の関連科目を理解していることが望ましい。 履修後：教科書以外の文献等により、更に理解を深めている事が望ましい。											
授業の進め方 と方法		教科書に基づき講義形式で行う。病態・栄養管理などの解説は、パワーポイントなどを用いる。 授業中にこれまでの復習をかねた質問をおこなう。 小テストを行い、理解度を確認する。											
授業計画 【第1回】		第1回 内分泌疾患 甲状腺機能障害ほか 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第2回】		第2回 神経疾患 総論 脳出血 脳梗塞 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第3回】		第3回 神経疾患 パーキンソン病等 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第4回】		第4回 摂食障害、精神疾患 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第5回】		第5回 呼吸器疾患 総論 慢性閉塞性肺疾患 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第6回】		第6回 呼吸器疾患 その他の呼吸器疾患 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第7回】		第7回 血液疾患 鉄欠乏性貧血、悪性貧血ほか 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第8回】		第8回 筋・骨格系疾患 骨粗鬆症、骨軟化症 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第9回】		第9回 免疫・アレルギー疾患① 総論 食物アレルギー 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											
授業計画 【第10回】		第10回 免疫・アレルギー疾患② 自己免疫疾患 免疫不全 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ											

授業計画【第11回】	第11回 感染症 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ
授業計画【第12回】	第12回 癌① 総論 化学療法、放射線療法の副作用に対する栄養食事療法について学ぶ
授業計画【第13回】	第13回 癌② 消化器癌 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ
授業計画【第14回】	第14回 手術・周術期患者の管理① 総論 消化管の術前・術後 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ
授業計画【第15回】	第15回 手術・周術期患者の管理② 消化管以外の術前・術後 病態の理解と病態に応じた栄養管理について学ぶ
授業の到達目標	病態の基本的知識を理解し、疾患ごとの栄養療法のポイントを説明できる。 傷病者への適切な栄養管理を実施するための、課題発見・解決により総合的なマネジメントを行うことが出来る。 医療に携わる管理栄養士としての倫理観を持つことが出来る。
学位授与の方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	次回の授業範囲の疾患についてからだと疾病 I・IIの復習をし予習とする。(1時間) 基礎栄養学の復習をし予習とする。(1時間)
授業時間外学習【復習】	復習 授業で学んだ事を振り返り、要点を整理する。(1時間)
課題に対するフィードバック	小テスト、定期テストの実施。テスト後、答え合わせ解説を行う。
評価方法・基準	学習態度 20点 小テスト 10点 定期テスト 70点
テキスト	最新 臨床栄養学 井上修二・上原テキスト 菅志夫 他 光生館 必要に応じ資料配付
参考書	授業の中で随時紹介する。
備考	管理栄養士として大学病院で勤務した経験に基づき、実践の臨床知識・事例・症例を用いながら講義を行う。